



神辺中だより

9

令和4年11月
神辺中学校長

修学旅行特別号

学楽両道 ~Endless Memory~

10月18日(火)~20日(木)で2年生が四国(高知, 徳島, 香川)へ修学旅行へ行ってきました。修学旅行のテーマにあるように、「学び」と「楽しさ」が随所で見られるものとなりました。コロナ禍にあって、この学年は小学校では宿泊をとまなう修学旅行とはなりませんでした。中学校で初めて2泊3日という短い時間ですが、様々なことを体験し、学んでいました。少しですが、紹介していきます。

<1日目>

修学旅行実行委員さんを中心として、出発式が行われました。ここから自主的な動きをつけて自分たちで作りあげる修学旅行を意識していました。保護者の方々や先生方に見送られ出発です。

出発直後から5台のバスに乗り込み、グループ別体験学習へとすすんでいきます。



【香川県】和三盆体験・うどんづくり

和三盆では、砂糖を型にはめこんで作り、伝統を学ぶことができました。うどんづくりでは、うどんティーチャーズの熱血指導のもと、グループに分かれて楽しく打ちました。出来上がりの太さや幅は様々で、個性が出てました。金毘羅参りとデザートもついて大満足の体験となりました。



【徳島県】かずら橋

思っていたよりも長くて、そしてよく揺れました。下を見ると…怖くて体がブルブル。何もつかまずスタスタ歩いている友達もいて驚きました。でも、周りの自然は絶景で、まさに秘境でした。



【高知県】鳴子づくり

よさこいとは何?! よさこいの歴史や衣装、踊りを体験しました。踊るのは恥ずかしそうにしていました。自分で作った鳴子は、配色に悩み、ビスを入れるのも難しかったです。記念に作ったものをお土産として持って帰れたのはうれしいです。



そして1日目のメインは、高知市内を班別自主研修です。班長さんが中心となって「防災・減災」にかかわ



る標識や場所、展示物を探します。そして、ひろめ市場などのチェックポイントで食べたり、お土産をたくさん購入していました。「弟や妹に…、おねえちゃんやおじいちゃんにもお土産を買ってあげるんだ。」優しい声が聞こえてきました。



宿泊場所は、海辺の果樹園さんに2泊させていただきました。リゾートホテルで生徒はみな興奮気味でした。到着後まもなく夕食、お風呂、班長や実行員さんの会議とたくさんのお話を経て、学びを振り返っていきます。テンションが上がったのか、眠れない生徒もいたようです。昨日の晩から、時間についてとても意識できるようになってきました。遅刻者は0。もしくはきちんと5分前には行動し、集合できるようになってきました。これも室長さんが意識させてくれたのだと思います。



<2日目>

今日は特に学習してきた、「防災・減災」についてと体験活動が中心となりました。各区グループはそれぞれの体験場所へと移動していきます。

【堤防つり】「さあ、釣るぞ！」気合は十分。何回も釣れる人、なかなか釣れない人、餌を永遠に食べ



られる人。30cm超えの大物も釣れました。待っている時間も、世間話を



たくさんしてのんびり楽しみました。

【シーカヤック】
海のカヌー。強風の中、インストラクターの方と一緒にレースをしたり、鬼ごっこをしたりと楽しむことができました。一番楽しんでいたのは先生かも！？



【陶芸体験】

初めて陶器をつくる生徒も多くとても貴重な体験となりました。忘れた頃に送られてくるそうで、楽しみです。



【マリンアクティビティ】
ウェットスーツやライフジャケットを身に付け、いざ海へ。メガサップやシーカヤックなど初めての体験ばかりでしたが、仲間たちと助け合い、笑い合いながら、時間いっぱい楽しみました。海と触れ合う貴重な体験でした。



【ドルフィン】

とにかくかわいい。イルカには癒やしの効果もあるようです。目の前までやってきて、背びれを触らせてくれました。



室戸世界ジオパークでは、大自然を感じつつ学習することができました。神辺町の地形図を活用して、昔はどこに川が流れていたのか、氾濫していたのかなど身近な場所から学ぶことができました。また、日本で唯一の津波シェルターへ入ることができました。相当な高さを超える津波にも対応するためのもので、中には簡易トイレや寝る場所もあり、山の上まで出られるらせん階段もありました。あらためて津波がどこまで来るのか、わからない不安と戦っているのだと感じた瞬間でした。



<3日目>

ついに最終日です。これまで、学楽両道をテーマにすすんできました。2日目の晩では、団長（教頭先生）から最後にミッションが出ます。「君たちは、3日目は楽しいことばかりが残っていると思う



けど、学びがあるのでは？さあ、この3日目の学びがなにかを考えて実行委員としての仕事をやり遂げてください。」四国水族館とレオ

マワールドです。一見楽しさが前面に出そうな場面ですが、どこに学びがあるでしょうか。答えはそれぞれかもしれません。



でも考えることや、水族館で「なぜだろう？」があったり、レオマワールドで会話する中で、その人の良さを発見したり、いろいろな学びがあるはず。帰りのバスでは、この「学び」をテーマにミニ学活を行ったクラスもありました。実行委員として前に出て成長できた人、グループリーダーとして率先してみんなを引っ張った人、班長としてみんなの安全を確かめながら活動をすすめた人、失敗しても次の日に取り返そうと、がんばった人。ガイドさんの足が悪いのを察して、手を差し伸べた人。いろんな人が、集団の中で行動することの難しさを感じながら、それでも安全に安心して修学旅行をすすめることができていました。

これからは、神辺中学校のリーダーとしてもっと責任を感じる場面が出てくるはず。今回の修学旅行で学んだことをしっかりといかして、生活していってほしいと思います。保護者の皆様におかれましては、送迎等で御協力いただきありがとうございました。今後ともよろしくお願ひいたします。

